

●どんな実験・工作なの？

液体の密度によって、同じ物体が浮いたり沈んだりすることを調べます。
卵がどのような浮き方をするのかを観察します。



● 実験の仕方とコツ

準備するもの

材料と道具

1. 500cc程度の軽量カップ
(代用品で透明のコップでもかまいません)
2. 水(水道水)
3. 塩
4. 卵
(代用品としては真水に沈むものが良いです)
5. 割り箸(水と塩を攪拌するため)
6. はかり
7. スプーン

実験開始

1. 卵を水中に入れると沈みます。徐々に水に食塩を加えていくと、卵は浮くことがわかります。
2. 同じ体積の水と食塩水の重さをはかると食塩水の方が重く、水よりも食塩水の方が密度が高いことがわかります。
3. 卵以外のいろんなものを浮かべて実験してみよう。

● 気をつけよう！

この実験は特に危ないものではありません。しかし、道具や塩水を悪ふざけすると目に入ったりけがをします。

- ・液体を口に含んだり飲み込んだりしないでください。
- ・実験を行う際は、必ず手順を読んでから行ってください。
- ・器具の取り扱いには十分注意し、けがをしない

● もっと詳しく知るために

死海を調べてみよう。

海の水の塩分濃度が約3%です。死海の湖水は1リットルあたりの塩分量は230gから270gで、湖底では428gもあります。このように濃い塩分濃度のため、湖水の比重が大きくなり、結果、浮力も大きいので、人が死海に入って沈むことは極めて困難だといわれています。